行った場合は、lipase 単用の場合と同じ結果を示し、lipase 作用の変わらないことがわかった。

4) lipase 反応液は、100°C 10 分の熱湯処理で容易にその酵素作用を失う。

5) 以上の結果から毒物の主体は lipase によって分解される物質と考えられる。

引用文献

- 1) 森下哲夫 (1957) 衛生動物 8 (2): 503~505.
- 2) 逢坂 昭 (1957) 衛生動物 8 (2): 99~100.
- 3) 森下哲夫他 (1955) 岐阜医紀 2 (5/6): 347~353.
- 4) 勝股光衛 (1955) 岐阜医紀 3 (2): 116~126.
- 5) 室賀政邦 (1957) 新昆虫 10 (7): 29~31.
- 6) 室賀政邦 (1957) 蚕糸界報 66 (779): 35~37.

Azotus 属 (Hymenoptera, Aphelinidae)

について、ならびに前報における学名の訂正¹

立川 哲 三 郎

愛媛大学農学部昆虫学研究室

私は前報(1957)において、*Azotus capensis* HOWARD をミカンマルカイガラムシおよびグミカイガラムシから羽化させたことを報じた。当時、私はこの私の得た材料を明らかに *Azotus* 属であると認め、この属の中では *A. capensis* に酷似し、しかもその寄主や分布から考えてこれに間違いなからうと考えたからであった。

しかしながらその後、私は本種の同定に疑問の点のあることにみずから気付いたので、これに関し再検討を試みた結果、私の *Azotus capensis* HOWARD として発表した材料は、実は *Ablerus perspiciosus* GIRAULT であり、しかもこの *Ablerus perspiciosus* は真の *Ablerus* 属のものではなく、明らかに *Azotus* 属に移さるべきものであることがここに初めて判明した。

そもそも *Ablerus* 属と *Azotus* 属とはきわめて近縁の間からあるので、まずこの両属に対する従来の見解を概観してみたい。*Ablerus* 属は 1894 年、*Azotus* 属は 1898 年に、ともに HOWARD によって創設された属であるが、*Azotus* 属の原記載中にはこの属と *Ablerus* 属との区別点には触れてなく、また 1904 年に出版された ASHMEAD の Chalcidoidea に関する大著には *Azotus*

属そのものが掲載されていない。そして 1907 年になって初めて HOWARD が *Aphelinini* の属の検索の中で、両属を次の点で区別している。

Stigmal vein squarely truncate at tip		<i>Ablerus</i> HOWARD
Stigmal vein with a swollen and rounded tip		<i>Azotus</i> HOWARD

この区別方式はその後、SCHMIEDEKNECHT および MERCET (1912) による属の検索中にもそのまま踏襲されているが、ただ MERCET は *Azotus* 属が *Ablerus* 属の synonym であろうと述べている。そして 1913 年になって初めて GIRAULT は正式に *Azotus* 属を *Ablerus* 属の synonym であるとした。しかるにその後 1922 年に MERCET は、彼の 1912 年に発表した考えを改めて、*Ablerus* 属と *Azotus* 属を三つの特徴から、すなわち stigmal vein の形と長さ、前翅の班紋、体形の差異によってそれぞれはっきり独立した属とみなした。それ以来現在に至るまで、*Ablerus* と *Azotus* は別属であるとするこの MERCET の意見が広く認められている。

さて、前報において私が *Azotus capensis* として発表した材料は従来 *Ablerus perspiciosus* として知られた種の記載に完全に一致する。そして *perspiciosus* の原記載において GIRAULT (1916) が述べているように *perspiciosus* と *capensis* はきわめてよく似ているが、両種の最も顕著な相異点は前翅の班紋である(第1および第2図)。すなわち両種ともに前翅に3条の班紋があるが、*perspiciosus* はその班紋に次の特徴を有することで

第1図 *Azotus capensis* HOWARD (HOWARD, 1907 より)

¹ On the Genus *Azotus* HOWARD (Hymenoptera, Aphelinidae), and a Correction of *Azotus*-species Name Given in my Previous Paper. By Tetsusaburo TACHIKAWA, Entomological Laboratory, College of Agriculture, Ehime University, Matsuyama. Japanese Journal of Applied Entomology and Zoology, vol. 2, no. 1.

第2図 松山産 *Azotus perspicuosus* (GIRAULT), ♀

第3図 松山産 *Azotus perspicuosus* (GIRAULT) の stigmal vein

capensis から区別される。

- 1) 第1班紋(翅の基部に近い班紋) ……幅広くかつ密に毛が生ずる。
- 2) 第2班紋(中央部の班紋) …… a) 第3班紋にほぼ並行に走り, b) marginal vein の前部と stigmal vein の基部との下方にかなりあらい毛が10数本1団となっており, c) 班紋の内側縁は直線に近い。
- 3) 第3班紋(翅端に近い班紋) ……班紋の湾曲状態が異なる。

次に *perspicuosus* の stigmal vein は現在まで調べられていないが、私の松山産の材料による調査では第3図の如くであり、これは明らかに *Azotus* 属の特徴を示している。したがってここに、前報において私が *Azotus capensis* HOWARD とした種を下記のように改める。

Azotus perspicuosus (GIRAULT, 1916) comb. nov.

- 1916 *Ablerus perspicuosus* GIRAULT, Ann. Ent. Soc. Amer. 9: 292.
 1921 *Ablerus perspicuosus* NAKAYAMA, Philippine Jour. Sci. 18 (1): 97.
 1926 *Azotus silvestrii* COMPERE, Univ. Calif. Pubns., Ent. 4: 9.
 1942 *Ablerus perspicuosus* GAHAN, Proc. U. S. Nat. Mus. 92: 47.
 1957 *Azotus capensis* TACHIKAWA (nec HOWARD), Japanese Jour. Appl. Ent. Zool. 1 (3): 178.

Azotus perspicuosus (GIRAULT) の寄主と産地

外国における寄主と産地:

- Chrysomphalus ficus* ASHMEAD (*C. aonidum* L.)
 ……China (Shanghai) [COMPERE, 1926]
Pseudaulacaspis pentagona TARGIONI クワシロカイガラムシ ……U. S. A. [GAHAN, 1942]

日本における寄主と産地:

- Aulacaspis difficilis* COCKERELL グミカイガラムシ ……松山市〔立川, 1957〕
Pseudaonidia duplex COCKERELL ミカンマルカイガラムシ ……松山市〔立川, 1957〕
Pseudaulacaspis pentagona TARGIONI クワシロカイガラムシ ……東京 [GIRAULT, 1916; 中山, 1921], 松山市*

* 1957 年の5月から7月にかけて羽化

終りに常々御懇篤な御指導を賜わっている安松京三博士に深謝の意を表する。

引用文献

- 1) ASHMEAD, W. H. (1904) Mem. Carnegie Mus. 1 (4).
- 2) GIRAULT, A. A. (1913) Mem. Queensland Mus. 2: 189.
- 3) GIRAULT, A. A. (1916) Ann. Ent. Soc. Amer. 9 (3): 292.
- 4) HOWARD, L. O. (1894) U. S. Dept. Agr., Insect Life 7 (1): 7.
- 5) HOWARD, L. O. (1898) Proc. Ent. Soc. Wash. 4: 138.
- 6) HOWARD, L. O. (1907) U. S. Dept. Agr., Bur. Ent., Tech. Ser. 12 (4): 72.
- 7) MERCET, R. G. (1912) *Los Afelininos*. Trab. Mus. Cienc. Nat. Madrid núm. 10: 46, 132.
- 8) MERCET, R. G. (1922) Bol. Real Soc. Españ. Hist. Nat. 22: 196~197.
- 9) SCHMIEDEKNECHT, O. (1909) Gen. Ins. 97: 450.
- 10) 立川哲三郎 (1957) 応動昆 1 (3): 178.